株式会社テラプローブ 決算説明資料

2016年3月期第1四半期



今回の発表の概要

メモリ事業

● 顧客の生産調整の影響がなくなるとともに、修繕費の低減などにより、 前四半期に比べ、売上高、セグメント利益とも増加

システムLSI事業

- テスト受託は国内・台湾子会社ともに売上高増加(過去最高)
- WLP・BUMP受託の売上高も堅調に推移
- 前四半期に比べ売上高、セグメント利益とも増加



前四半期に比べ、売上高、利益ともに増加



2016年3月期 第1四半期 実績

(億円)

		前年同期比較			前四半期比較		
		1Q/FY2014	1Q/FY2015	YoY増減	4Q/FY2014	1Q/FY2015	QoQ増減
	メモリ	35.2	35.0	-0.1	34.5	35.0	0.5
	システムLSI	14.8	20.9	6.1	17.9	20.9	3.1
	その他	0.3	1.6	1.3	0.9	1.6	0.6
売上高		50.3	57.5	7.2	53.3	57.5	4.2
	メモリ	6.0	8.9	2.8	7.9	8.9	0.9
	システムLSI	-2.8	1.7	4.5	0.3	1.7	1.3
	その他	-2.9	-3.5	-0.6	-3.3	-3.5	-0.2
営業利益		0.3	7.0	6.7	5.0	7.0	2.1
営業利益率		0.7%	12.2%	_	9.3%	12.2%	_
当期純利益		-1.1	4.7	5.8	0.8	4.7	3.9
当期純利益率		-2.1%	8.2%	_	1.6%	8.2%	_



2016年3月期第1四半期 実績増減分析①

第1四半期売上高(YoY)

〈メモリ事業〉

台湾子会社は増加したが、国内はテスト時間短縮の進展により、減少

〈システムLSI事業〉

テスト受託が大幅に増加するとともに、 WLP・BUMP受託も増加

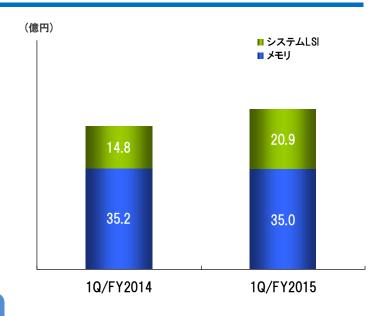
第1四半期営業利益(YoY)

〈メモリ事業〉

売上高は微減だが、 減価償却費の減少などにより増益

〈システムLSI事業〉

・ 売上高の増加により増益





2016年3月期 第1四半期実績増減分析②

(億円)

4Q/FY2014

第1四半期売上高(QoQ)

〈メモリ事業〉

・ 前四半期における顧客の生産調整がなくなり、増加

〈システムLSI事業〉

- テスト受託、WLP-BUMP受託ともに増加

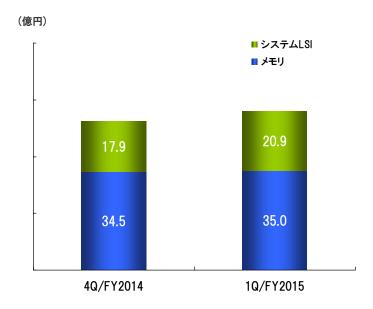
第1四半期営業利益(QoQ)

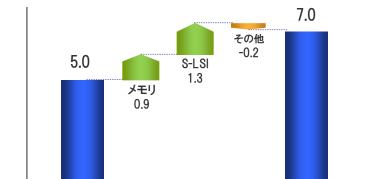
〈メモリ事業〉

・ 売上高の増加及び修繕費の低減などにより、増益

〈システムL SI事業〉

- 売上高の増加により増益





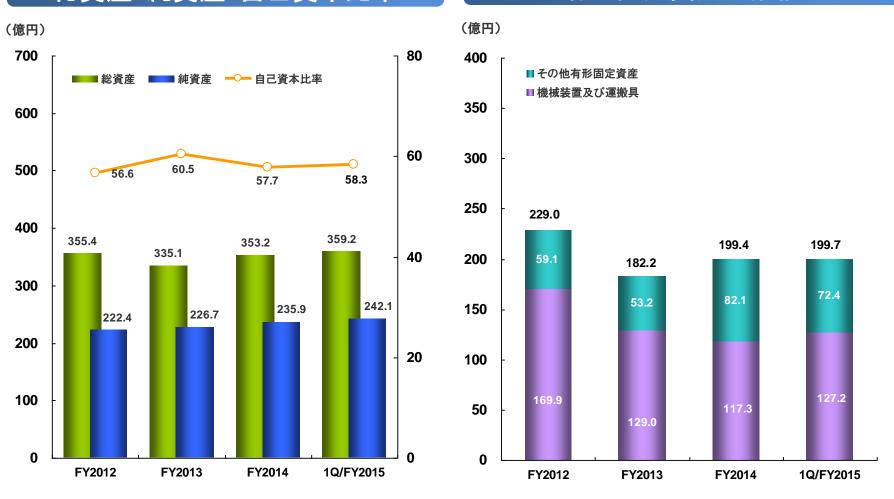
1Q/FY2015



財務状況の推移①

総資産•純資産•自己資本比率

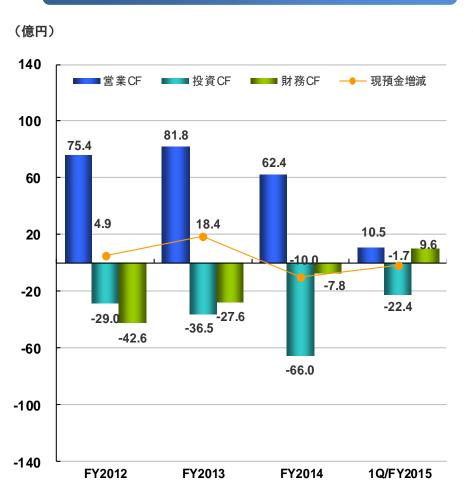
有形固定資産の推移

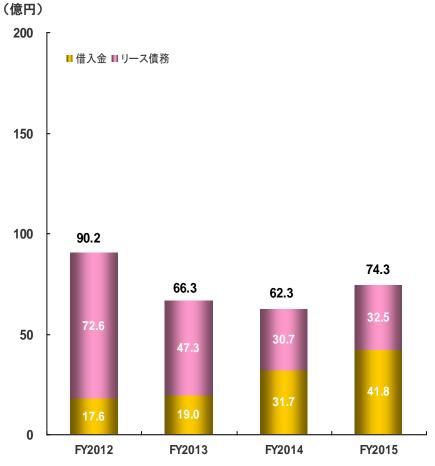


財務状況の推移②

キャッシュフロー

借入金・リース債務残高



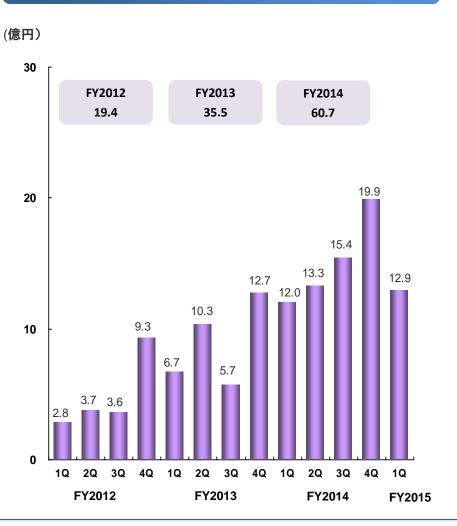


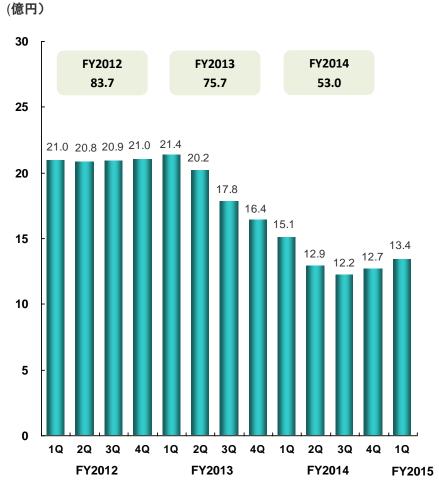


設備投資及び減価償却

設備投資額推移

減価償却費推移







2016年3月期 第2四半期業績予想の概要

メモリ事業

● 前四半期における一時的な受託量の増加も収まり、 売上高は減少する見込

システムLSI事業

- テスト受託は緩やかに増加するものの、 WLP・BUMP受託は弱含み
- 減価償却費や用力費などが増加

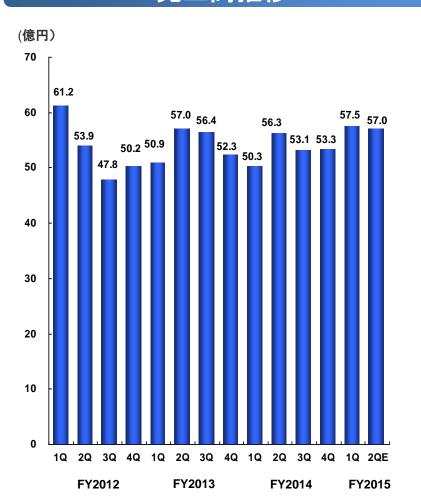


前四半期に比べ 売上高、営業利益ともに減少

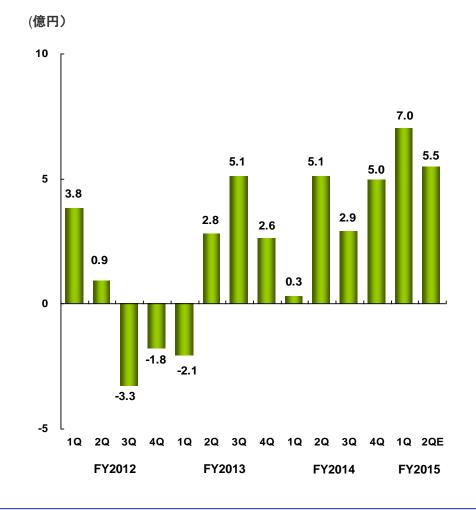


売上高及び営業利益推移

売上高推移



営業利益推移



本資料における注意事項等

- 本資料は投資家の参考に資するよう、株式会社テラプローブ(以下、弊社)の現状を 理解していただくために作成したものです。
- 本資料に記載された内容は、発表時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢及び弊社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資を行う際は、必ず弊社が開示している資料をご覧いただいた上で、投資家ご自 身の判断において行っていただきますよう、お願い致します。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

株式会社テラプローブ ファイナンス部門 IRグループ TEL (045)476-5711 URL http://www.teraprobe.com/